

都道府県名	石川県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	志賀町立高浜小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	21
児童数	46	47	49	52	50	48	2	294	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学ぶ力を高める算数の学習 <p style="text-align: center;">————— 算数的活動を工夫して —————</p>

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～6年生の算数 ・ 6年生の理科 <p>一人一人の学びを大切に、基礎的・基本的な知識や技能の定着をめざし、平成13年度から少人数指導を取り入れてきた。今年度も理解や習熟の程度に差が生じやすいと考える算数科と理科において少人数指導を取り入れ、学力の向上をめざしたいと考える。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら学ぶ力を高める算数の学習 <p style="text-align: center;">————— 算数的活動を工夫して —————</p></p> <p>研究の見通し 「基礎・基本」の定着のために、算数科を中心に個に応じたきめ細かい指導を展開する。そのために少人数指導を導入し、指導方法や指導体制を工夫し、基礎・基本の定着をめざす。そして、学ぶ力を高めるために児童自らが主体的に算数的活動に取り組み、学ぶことの楽しさや充実感を味わう学習活動の展開を工夫していく。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年から6年まで、算数科で個に応じた指導のために少人数指導を行う。学習集団の編成方法や指導方法を工夫改善して確かな学力の向上を図る。 ・ 少人数の効果的な授業実践を研究する。児童の実態や学年段階に応じて、習熟度を主体にしながら課題別指導やコース別指導、個別指導を組み入れ、基礎学力の定着のための有効な指導法を工夫する。 ・ 算数科を学ぶ楽しさを体得できるように、算数的活動を充実できるような学習活動の展開を工夫する。 ・ 学習集団に応じた発展的な学習及び補足的な学習の教材開発や指導の工夫を図り、個に応じた指導を展開し、学力の向上をめざす。 ・ 算数科の学力調査を全校で実施し、学力の定着度を図るとともに、少人
--------	--

	<p>数指導の効果を分析し、個に応じた指導法の工夫に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本の知識技能の確実な定着を図るために、朝自習の時間等を計画的に利用して繰り返し学習等を実施する。 ・ 児童一人一人が学力の伸びを自己評価し、意欲的に学ぶようにする。 ・ 個に応じたきめ細かい指導に結びつく評価方法を工夫し、評価を生かした授業作りを進める。 ・ 少人数指導の指導方法や評価の仕方について、保護者に理解を求めするために、積極的に授業を公開したり、少人数授業の取り組み状況を学校だよりやホームページ等で発信したりする。 ・ 学力の向上に向けて、計画的に校内研修を行ったり授業研究に取り組んだりする。その際、教育委員会や大学等から指導講師を招き、多角的な見方で研究が深められるようにする。 ・ 先進校を視察し、フロンティアスクールとしての情報交換を図り、研究をより深める。 ・ 少人数指導の指導方法や学力向上のための研究成果を近隣の学校に広めるために、授業を公開するとともに研究協議を行う。
--	--

平成 16 年度	<p>テーマ 自ら学ぶ力を高める算数の学習 ————— 算数的活動を工夫して —————</p> <p>研究の見通し 15年度に引き続き、1～6年生の算数科と6年生の理科において、少人数指導を導入し、指導方法や指導体制の工夫をする。また、教材研究、教材開発を通して算数的活動を工夫し、「基礎・基本」を定着させ、自ら学ぶ力を高めていく。</p> <p>研究の内容・方法 15年度の研究内容をさらに深めていくため、特に次の点についての実践研究に重点を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力を定着させ、一人一人のよさや可能性を伸ばすために、学習集団に応じた効果的な指導法について工夫する。 ・ 教材開発を行い、児童が解決したいという必要感や意欲を持つ問題提示の仕方を工夫したり、活動が思考に結びつくような学習過程を工夫する。 ・ 児童が学ぶことの楽しさを味わうことができるような算数的活動を工夫する。 ・ 学習の過程や成果について、自己の考えを確かめることができるような自己評価の内容や方法の工夫・改善をする。
----------------	--

(3) 研究推進体制

コースの分け方と指導者			
学年	教科	形態	担当
1年	算数	クラス単位2つに分ける	学担 少人数担当A
2年	算数	クラス単位2つに分ける	学担 少人数担当A
3年	算数	クラス単位2つに分ける	学担 少人数担当B

4年	算数	学年単位3つに分ける	学担 少人数担当B
5年	算数	学年単位4つに分ける	学担 少人数担当B 級外C
6年	算数	学年単位4つに分ける	学担 少人数担当B 級外D
6年	理科	クラス単位2つに分ける	学担 少人数担当A

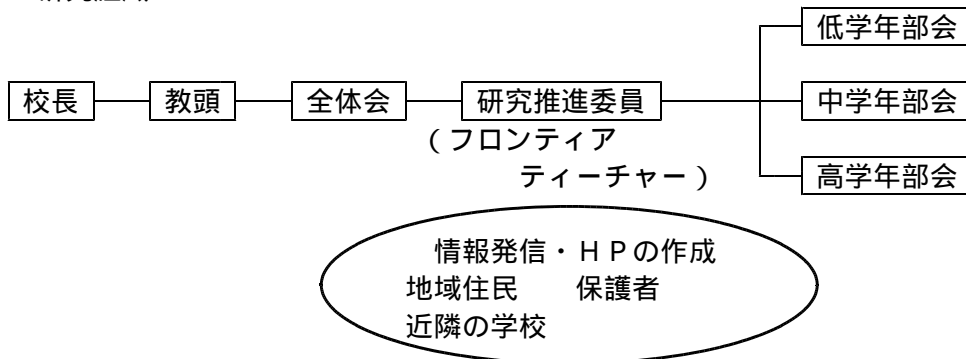
授業の進め方

- ・ 打ち合わせ時間を確保し、学習計画、形態については单元ごとに学担と少人数担当で相談して決める。

	月	火	木	金
4時～4時半	1の1 3の1	2の1 6年	6の1 5年	4年
4時半～5時	1の2 3の2	2の2 4年	6の2	

- ・ 单元のはじめにレディネステストを行い、習熟度で分ける。单元によっては、児童の希望で分けたり均等に分けたりする。
- ・ 少人数記録は、授業者がそれぞれ記録し、毎週、少人数担当に提出する。少人数担当はまとめて記録する。

研究組織



- ・ 各部会は、学担と少人数担当、フロンティアティーチャー、級外が所属し、教材研究、教材開発を行ったり授業研究会を行ったりする。
- ・ 研究推進委員会は、各部会の代表と校長、教頭、少人数担当、フロンティアティーチャー、教務で構成し 研究推進のための原案を作成し、全体会で提案する。
- ・ 全体会は、研究推進委員会から出された原案に基づいて、研究推進の方向を定め、共通理解を図りながら、研究の推進をする。また、授業研究、指導案検討会、授業整理会等をして研究実践を深める。
- ・ フロンティアティーチャーはHPを作成し、情報を発信する。
- ・ 学校長はPTA総会、学校だより等を通して保護者に理解を求める。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 学習集団の編成方法を工夫し、集団に応じた指導法を工夫した結果、教師が一人一人の学習の状況を把握することができ、個に応じた指導ができるようになってきた。
- ・ ねらいを明確に持ち、学習集団に応じた算数的活動を工夫することにより、

学ぶ楽しさを味わいながら理解できるようになってきた。

- ・ 自己評価の工夫により、自己の学びを振り返り、さらに、友達同士の学び合いができるようになってきた。
- ・ 少人数指導について、授業参観、学校だより等で保護者に理解を求め、平成15年7月にアンケート調査した結果、個に応じたきめ細かい指導が受けられてよいとほとんどの保護者が答えている。

(アンケート集計結果より)

少人数指導をどう思いますか。

ア、よいと思う イ、ふつう ウ、よくない

という設問に対して

ア、 よいと思う 159人

イ、 ふつう 49人

ウ、 よくない 1人

「よいと答えた方はどんなところが良いと思いますか?」という設問に対して「個に応じたきめ細かい指導が受けられてよい。」と答えている。

2. 今後の課題

- ・ 指導者の打ち合わせの時間を確保し、教材研究をしたり連絡を取り合ったりしながら、学習集団に応じた指導の充実を図り、一人一人のよさや可能性を伸ばすようにする。
- ・ 教材開発を行い、児童の主体的な学習の場を確保し、意欲を持って解決したり、必要感に迫られるような問題提示のありかたや学習過程の工夫をする必要がある。
- ・ 基礎・基本の定着と数学的な見方や考え方のよさが分かるように、ねらいに応じた多様な算数的活動を工夫しなければならない。
- ・ 自己の学びや友達同士の学び合いを高めることができるような自己評価の内容の工夫・改善に努める。

学力把握のための学校としての取組

(平成15年度石川県基礎学力調査)

* 調査の目的

本校の6年生の学力の実態を知り、個に応じた学習指導に生かす。

* 実施内容

6年生について、4教科実施する。

* 時期

平成15年5月1日

(算数学力テスト)

* 調査の目的

児童の算数の学力の実態について客観的な情報を得るとともに、学習状況の変容を知り、個に応じた指導に活用する。

* 実施内容

出題範囲は前学年のもの(1年生は除く)である。個人別に観点ごとに学力の状況を分析して指導に役立てるとともに、保護者にも知らせている。教師は、個に応じた指導の参考にすることができ、保護者は通知表、日頃の学習状況と合わせて児童の学習状況を知ることが出来る。

* 時期

平成15年度は9月末に実施した。16年度は5月に実施する予定。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 研究会，説明会等の開催実績及び開催予定	
・ 授業公開	
日時	平成16年1学期中
場所	高浜小学校
対象	七尾，鹿島，羽咋郡市小中学校教員及び保護者，地域住民
目的	「学力向上フロンティアスクール」として，少人数授業の指導法や学力向上のための途中までの成果を公開し，意見を求め，研究を深める。
・ 研究発表会	
日時	平成16年10月20日 13時30分～
場所	高浜小学校
対象	七尾，鹿島，羽咋郡市小中学校教員及び保護者，地域住民
目的	「学力向上フロンティアスクール」として少人数授業の指導法や学力向上のための研究の成果を近隣の学校に広めるため，公開授業，研究発表等を行う。
* 研究成果普及のためのHP作成，パンフレット作成等の実績及び今後の予定	
・ 平成15年度研究成果について，七尾，鹿島，羽咋郡市小中学校にCD-ROMを配布する。(平成16年3月)	
・ 平成16年度研究成果についてHP作成を行う。(平成16年8月)	
平成16年度研究成果についてパンフレット作成を行う。(平成16年10月)	
* フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績予定	
・ 授業公開と研究会	
日時	平成16年1月19日(月) 13時50分～
場所	高浜小学校
対象	志賀町教育研究会 算数・数学部員
目的	授業参観の後，高浜小学校少人数指導の取組について紹介し，効果的な少人数指導のあり方や算数指導のあり方等について研究協議する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	<input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校	<input type="checkbox"/> 14年度からの継続校		
【学校規模】	<input type="checkbox"/> 6学級以下	<input type="checkbox"/> 7～12学級		
	<input checked="" type="checkbox"/> 13～18学級	<input type="checkbox"/> 19～24学級		
	<input type="checkbox"/> 25学級以上			
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 一部教科担任制	<input type="checkbox"/> T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	<input type="checkbox"/> 国語	<input type="checkbox"/> 社会	<input checked="" type="checkbox"/> 算数	<input checked="" type="checkbox"/> 理科
	<input type="checkbox"/> 生活	<input type="checkbox"/> 音楽	<input type="checkbox"/> 図画工作	<input type="checkbox"/> 家庭
	<input type="checkbox"/> 体育	<input type="checkbox"/> その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		